

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご購入のゆくまでお試しください。

ダイバーウォッチは潜水に使用されるため、その機能が十分に働かないと生命にかかわる事故の原因になる恐れがあります。本製品は厳重な検査工程を経て製造されています。なお、お買い上げ後、電池交換を行なう際には、バックシン交換および特殊な試験機での防水検査を行ないますので、手数でも必ずお買い上げ店または直接カシオサービスセンターにご相談ください。

ご使用上の注意

■潜水について

●防水性

水深200m(20気圧)相当の圧力に耐えます。スキングダイビング、スキューバダイビング等にご使用になれます。

★防水性を保つために必ず定期的(2年に1回)なバックシン交換および防水検査(オーバーホール)を行なってください。

●潜水に使用する際の注意事項

- 必ず安全潜水に関する特別の教育を受けてからご使用ください。
- 飽和潜水等によるヘリウム雰囲気中では使用できません。

●潜水前のご注意

- 電池が消耗していないかを確認してください。
- ※電池が消耗しているときは、「時計の狂いが目立ったり」、表示が「見にくくなったり」「消えたり」します。このようなときはすみやかにお買い上げ店またはカシオサービスセンターに電池交換をお申し付けください。電池交換の際、バックシン交換および防水検査を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 時刻が正確にセットされているか確認してください。
- ガラスやケース、バンド等にひびやカケなどの異常がないか、また、バンドの固定は確かかどうかを確認してください。
- ※万一、以上の内容に異常が認められたときは、使用を中止してカシオサービスセンターにご相談ください。

●潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないように注意してください。

●潜水後のお手入れ

- 海水や汚れを真水でよく洗い落とし、サビなどがでないようにしてください。
- ※一晩真水につけて塩抜きすることをおすすめします。また、時計を洗った後は、よく拭いてください。
- ※お手入れにはシンナー・ガソリン・各種溶剤またはそれらを含むクリーナーを使用しないでください。変色や破損を生じる場合があります。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。
- 樹脂バンドは、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けれます。
- バンドにひびなどの異常があるときはそのまま使用せず、必ず新しいバンドと交換してください。
- ※バンド交換の際、時計本体とバンドをつなぐパネ棒も交換してください。

■温度

- 直射日光が長くあたり、高温になる所(例えば車の中)や寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 腕につけたままでもトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたまま激しいスポーツなどでのショックが加わっても支障ありません。(ただし、ガラス部分をぶつけることはお避けください。)

■磁気

- 磁気の影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗すると「時刻の狂いが目立ったり」、表示が「見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- ※電池交換の際、バックシン交換および防水検査(オーバーホール)を実施しますので、お預り期間が通常品より長くかかります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けれます。

ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。そのようなときはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けれます。

操作のしくみと表示の見方

表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。ストップウォッチ、タイマー、アラームの各モードを使用後、◎ボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード

<ログデータ表示> (曜日の見方)

グラフ表示 月 曜日 日

時 分 秒

午前マーク (午後は「P」)

<ログデータ表示> インターバルタイム

潜水時間 潜水開始時間

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

★グラフ表示…時刻に連動して1秒ごとに点灯/不点灯し、5分ごとに点灯します。

★ライト点灯…◎ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度◎ボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)

<ご注意>直射日光下では、発光が見えにくくなります。また、発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

★ログデータ表示…◎ボタンを押している間ログデータ表示となります。

★ログデータ消去…◎・◎ボタンを同時に押すとログデータが消去されます。

ダイビング(潜水時間計測)モード

潜水時間は、1秒ごと24時間まで計測できます

<計測前(リセット時)> <計測中>

現在時刻

グラフ表示

現在時刻

潜水開始時刻

計測スタート

潜水時間

計測ストップ

★グラフ表示…潜水時間に連動して1秒ごとに点灯/不点灯し、5分ごとに点灯します。

★ライト点灯…◎ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度◎ボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)

ストップウォッチモード

1/100秒単位で24時間まで計測できます

現在時刻

時 分 秒 1/100秒

スプリットリセット

スタートストップ

タイマーモード

1秒単位で24時間までセットでき、1/10秒単位で減算計測できます。

現在時刻

時 分 秒 1/10秒

リセット

スタートストップ

アラームモード

3本のアラーム、時報がセットできます

現在時刻

アラーム時刻

アラーム番号

ON/OFF切替

アラームセット月日

アラーム番号切替

時刻・カレンダーの合わせ方

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、

◎ボタンを押します

セット状態となり、「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、◎ボタンを押します

「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、◎ボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、

◎ボタンを押します

セット状態となり、「秒」が点滅します。



(2) ◎ボタンを押します

セット状態のとき、◎ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。点滅箇所がセット可能ですので、◎ボタンでセットしたい箇所を選びます。



※12/24時間制表示切り替え12/24時間制切替のときに◎ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

※年は西暦で1995年~2039年までセットできます。※曜日は年・月・日と合わせることで自動的にセットされます。



<12/24時間制表示切替>



(3) 点滅箇所が◎ボタンを押すごとに1つずつ進みます。※押し続けると早送りができます。

◎ボタンでセットしたい箇所を選び、◎ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。※「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。



(4) セットが終わりましたら、◎ボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。

- セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

タイマーの使い方…操作のしくみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします

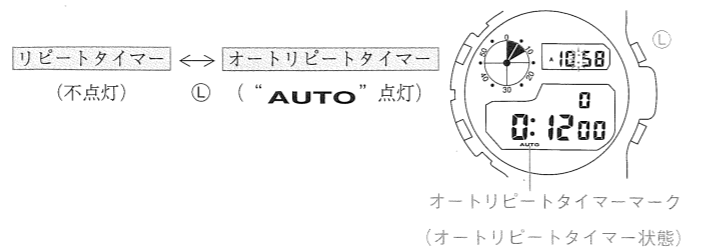
タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間の電子音で知らせてくれます。また、止めるまでセット時間をくりかえし計測するオートリピードタイマーとして使うこともできます。

■タイマー時間のセットのしかた

- タイマーモードのとき、
Bボタンを押します
セット状態となり、タイマー時間の「時」が点滅します。
 - このとき、Cボタンを押すごとに以下のように入減箇所が移動します。点滅箇所がセット可能となりますので、Cボタンでセットしたい箇所を選びます。
 - 点滅箇所の表示数字がAボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りします。
※24時間をセットする場合は、「0:00:00」に合わせます。
 - セットが終わりましたら、Bボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
※セット時間は5分単位でグラフ表示されます。(5分未満は切り捨て)
- タイマー時間セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

■タイマーの方法を選ぶ

タイマー時間のセット状態(時、分、秒いずれかが点滅)のとき、Lボタンを押すごとにタイマーの方法が以下のように切り替わります。



- リピード(繰り返し)計測
タイムアップ後(残り時間0)電子音が鳴り終わると、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。
- オートリピード機能(自動繰り返し計測)
オートリピード計測は、タイムアップ後(残り時間0)も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。

■タイマー計測のしかた

- Aボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。計測中Aボタンはスタート/ストップボタンとなりますので、ロスタイムがあるときは、Aボタンを押して計測を停止します。
- ※計測の途中で最初からやり直すときは、Aボタンを押して計測ストップ後、Lボタンを押します。
- ※タイマー減算計測中のグラフ表示
タイマー減算計測を始めると、5分未満の切り捨てられた部分から点滅し、以後、5分単位で消灯します。
- 鳴っている電子音を止めるには
鳴っている電子音を止めるには、L A B C ボタンのいずれかを押します。

ダイビング(潜水時間計測)機能の使い方

■ダイビング機能(潜水時間計測)について
本機は、ボタン1つで潜水時間の計測を行なうことができます。また、潜水時間の計測を終了させると、インターバルタイム(水面休息時間)の計測を自動的に行ないます。また、計測された潜水時間は、計測を開始した時間とともにメモリーすることができ、簡単に呼び出すことができます。

- 計測範囲および表示単位
- 潜水時間…計測範囲=23時間59分59秒(24時間) 表示単位=1秒
※計測範囲を越えると0に戻り、くりかえし計測を行ないます。
 - インターバルタイム…計測範囲=23時間59分(59秒)(24時間) 表示単位=1分
※インターバルタイムは、時刻・カレンダーモードでAボタンを押している間表示(分単位で表示)され、計測範囲を越えると、「-:--」表示となります。

■潜水時間の計測のしかた

- <ダイビングモード>
- ダイビングモードに切り替える
Cボタンを約1秒間押します
※どのモードのときでも切り替わります。
 - 潜水時間の計測を始める
Aボタンを押します
このときの時間を「潜水開始時刻」としてメモリーします。
 - 潜水時間の計測を終了する
Aボタンを約1秒間押します
潜水時間の計測終了と時間に、インターバルタイムの計測を開始します。
※ただし、インターバルタイムはダイビングモードで見ることができません。
〔「計測したデータを見る」参照〕

- ★ライト点灯
Lボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度Lボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)
- ★計測値をリセット/メモリー
Aボタンでストップ後、Bボタンを押すと計測値がリセット(0:0000)されます。
※このときに計測された潜水時間と潜水開始時刻がメモリーされます。
※計測ストップ後、リセットせずにCボタンでモードを切り替えても、計測値はリセット/メモリーされます。

(4) 時刻・カレンダーモードに戻す

- Cボタンを約1秒間押します
- <ご注意>
潜水時間計測中にCボタンを約1秒間押すと、時刻・カレンダーモードに戻りますが、計測は続けられたままとなり、このときのログデータはメモリーされませんのでご注意ください。

■計測したデータを見る

- 時刻・カレンダーモードのときにAボタンを押し続ける間、最新のログデータ(潜水開始時刻、潜水時間)およびインターバルタイムを表示します。
- メモリ一本数は1本のため、新しい計測(潜水)を行なうと、自動的に古いデータが消え、新しいデータがメモリーされます。
※ただし、計測をストップさせずに時刻・カレンダーモードに切り替えた場合のログデータは、前回のものとなり、インターバルタイムは「-:--」となります。
- ログデータの消去
時刻・カレンダーモードのとき、A・Bボタンを同時に押すと、メモリーされたログデータが消去されます。
※Aボタンを押しながら、Bボタンを押すと簡単に消去できます。

アラームの使い方…操作のしくみにしたがってCボタンを押し、アラームモードにします

本機には月・日・時・分がセットできるアラームが3つあり、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。月・日を指定するとその月日のセット時刻に、月・日を指定しないときは毎日セット時刻に鳴ります。なお、3つのアラームはいずれも同じ使い方ができ、同時に3つの時刻をセットすることができます。また、毎正時(00分のとき)を「ピッピッ」と電子音で知らせる時報もセットすることができます。

■アラームのセットのしかた

- アラーム番号を選ぶ
アラームモードのとき、Aボタンを押すごとに以下の順に表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。
- アラーム番号を選びましたら、
Bボタンを押します
セット状態となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。
※アラームONマーク(III)が点灯します。
- このとき、Cボタンを押すごとに以下のように入減箇所が移動します。点滅箇所がセット可能となりますので、Cボタンでセットしたい箇所を選びます。

- 点滅箇所の表示数字がAボタンを押すごとに1つずつ進みますので、時・分・月・日をセットします。
※Aボタンは、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。
- セットが終わりましたら、Bボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
※アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

- 月日のセット
月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日がわかります。
月・日・時・分セット→指定月日の指定時刻に鳴る。
月・時・分のみセット→指定月の1ヵ月間、毎日指定時刻に鳴る。
日・時・分のみセット→月1回、指定日の指定時刻に鳴る。
時・分のみセット→毎日指定時刻に鳴る。
※月日をセットしないときは、「----」と表示させます。

- アラーム・時報を鳴らすには
各アラーム表示(1~3)または時報表示のときに、Lボタンを押すごとにアラームONマーク(III)、時報ONマーク(II)が点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときにONで、アラーム・時報が鳴ります。

- ※アラームおよび時報を鳴らさないときは、Lボタンを押して「III」または「II」が点灯していない状態にします。

- 鳴っている電子音を止めるには
鳴っている電子音を止めるには、L A B C ボタンのいずれかのボタンを押します。

- デモアラーム
アラームモードでAボタンを1~2秒以上押し続けると、押し続けている間電子音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方…操作のしくみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

- Aボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測中Cボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。
- A・Lボタンともそれぞれ押しすと操作確認音が鳴ります。

- 通常の計測
スタート → ストップ → リセット
- 積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(Aボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。
- スプリットタイム(途中経過時間)の計測
スタート → スプリット計測 → スプリット解除 → ストップ → リセット
- 1着・2着のタイム同時計測
スタート → 1着がゴール → 2着がゴール → 2着タイム表示 → リセット (1着タイム表示)

製品仕様

- 水晶発振周波数: 32,768 Hz
常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
基本機能: 時・分・秒・月・日・曜日、午前(A)/午後(P)フルオートカレンダー(1995~2039年)
ログデータ表示機能(潜水開始時刻、潜水時間)、インターバルタイム表示
- ダイビング機能: 潜水時間 計測範囲=23時間59分59秒 表示単位=1秒
インターバルタイム 計測範囲=23時間59分(59秒) 表示単位=1分
- ログデータメモリー機能: メモリー1本(潜水開始時刻、潜水時間)、メモリークリアー機能
- アラーム機能: 時刻アラーム3本 セット単位=月・日・時・分 電子音=20秒間
時報 毎正時に2回電子音で報時
- タイマー機能: 計測単位=1/10秒 セット単位=1秒 計測範囲=24時間
電子音=10秒間
通常計測、ロスタイム計測、リピード計測/オートリピード計測
- ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
- セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、タイマーセット機能
- その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、デモアラーム、ライト子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI
- 主要回路素子: CR-2016(電池別途販売)
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
- 電池寿命: 約2年
(1日あたり、電子音20秒間およびライトを約2秒間使用した場合)